

令和7年度の青少年を対象とした育成事業実施状況報告書（令和8年1月13日現在）

【健全育成の推進方針】1.明るく会話のある家庭づくりの推進

実施主体 団体名	実施事業名	事業の取組の概要 (テーマ・日時・対象・人数等)	成果及び課題
児童館	【本郷児童館】 ①カフェテリアmogu ②HONGO DANCE SCHOOL ③親子de里山	①平日毎日開放時間 12:00～13:00/14:00～17:00 (長期休みは11:00～) ・地域の誰でも利用できるようにし交流の場やこどもの憩いの場とした。長期休み期間は開館時間を1時間早め、より利用しやすいように工夫した。 ・外部団体と協力して駄菓子屋さんも実施し自然と会話ができる環境を生み出した。 ②小学生向けダンススクールを月3回実施。シーズンごとに発表会もあり保護者や関係者に披露する機会がある。 ③子どもたちの遊び場となっているゆうしの里山で親子イベントを実施。カレーナンを食べたり里山遊び、工作を行った。(年1回)	①食べながら話したり遊んだりできる環境に子ども同士の交流が弾み、地域の拠点として活用できている。 ②年間通しての利用者が多い。見学の保護者も多く、職員とのコミュニケーションの場としても良い機会となっている。参加希望者が多くキャンセル待ちや発表会のキャバが今後の課題。 ③参加者同士はもちろん、保護者と職員、地域のボランティアの方との関係性も深まるいい機会となっている。
	【第二文化センター児童館】 ①わくわくクラブ ②児童館合唱クラブ ③けん玉検定 ④クワガタムシの飼い方を親子で学ぼう ⑤Tシャツにスタンプしよう！ ⑥鉄道模型とジオラマの世界 ⑦オセロ大会 ⑧卓球大会 ⑨こまの日 ⑩ゲーム大会	①年間登録事業。月に1～2回程度実施。工作やクッキング、館外見学会で科学技術館へ行くほか、実行委員としておまつりを手伝う。 ②年間登録事業。講師を招いて合唱の楽しさを学ぶ。児童館学童クラブまつりにぶんまつりで成果を発表する。 ③月に一度実施。目標をに向けて努力し成功体験を積み重ねる。 ④小学生親子を対象に年に一度、講師を招いて実施。クワガタを通して命の大切さを知る。 ⑤年に一度講師を招いて実施。消しゴムハンコをスタンプし世界に一つのTシャツや小物を作成。 ⑥年に一度実施。親子で共通の趣味を楽しむ機会を作る。 ⑦年に一度実施。真剣勝負をすることで自分を見つめる機会となる。 ⑧年に一度実施。真剣勝負をすることで自分を見つめる機会となる。 ⑨1月に数日実施。むかしあそびを通して文化の伝承ができ、親子のコミュニケーションが深まる機会となる ⑩年に一度実施。ゲームを投票で決め大会を開いた。	①工作やクッキング、館外見学会を通して様々な物事に対して興味や関心を持ち、好奇心を広げ学び、成長することができた。また、おまつりの実行委員活動を通じ、児童の自主性も育ち社会性を養うことができた。 ②地域の参加者同士、他校、異学年の参加者の交流の場となった。練習を重ねおまつりで発表することにより、保護者に子どもたちの成長を感じてもらう良い機会となった。 ③けん玉の楽しさやコツを教わりながら技を磨くことで自信をつけたり、異学年の参加者と交流をすることができた。参加者の体力や精神力、集中力を養う場になった。 ④親子で協力して生き物を飼うことで命の大切さを知り、また、昆虫の生態や環境への影響について学ぶことができた。 ⑤スタンプの方法を覚えてもらい、アートの感覚を楽しみながら個性を表現する場となった。 ⑥細かく再現されたジオラマを見ることにより、タイムスリップや旅行の疑似体験となり、親子の会話が弾んだ。 ⑦他校、異学年と勝負することで人間関係の輪が広がり、また公平なルールの中で戦う経験が、社会性の成長につながった。 ⑧勝っても負けても相手をたたえ、スポーツマンシップを学ぶことができ、日々の練習の成果を試す良い機会となった。 ⑨昔あそびの体験を通して体の使い方を学び、保護者との話題が増えることを期待。集中力を養う場ともなる。 ⑩異学年の参加者との交流で社会性を学び、参加者を応援したり応援された経験が思いやりや仲間の大切さを学ぶ場となった。

児童館

<p>【第三文化センター児童館】</p> <p>①ダンス！ダンス！</p> <p>②トランポリンの日</p>	<p>①年10回実施。小学生を対象に講師を招いてヒップホップダンス教室を実施。おまつりで成果発表。</p> <p>②年1回実施。小学生を対象に講師を招いてトランポリン教室を実施。</p>	<p>①参加者同士や講師との関わりを通して交流の場となった。練習を重ね、発表することにより、子どもたちの大きな自信になり、心身の増進にも繋がった。</p> <p>②参加者同士や講師との関わりを通して交流の場となった。また、心身の増進にも繋がった。</p>
<p>【第四文化センター児童館】</p> <p>①「黒板アート教室」</p> <p>②「トランポリン教室」 (予定1月・3月)</p>	<p>①講師を招いて、アートやスポーツの専門的指導を受ける。</p>	<p>①イベントを通して、貴重な経験、体験ができた。</p>
<p>【城山文化センター児童館】</p> <p>①多世代交流クラフトコーナー</p> <p>②SHIROJI朝カフェ</p> <p>③SHIROJIタカフェ</p> <p>④親子体操クラブ</p> <p>⑤絵本サークル城児</p> <p>⑥けん玉認定</p> <p>⑦城児ダンススクール</p> <p>⑧和太鼓城児</p> <p>⑨スライムが作れちゃう日</p> <p>⑩父の日メッセージカードづくり</p> <p>⑪夏のカレンダーづくり</p> <p>⑫山カフェ(未就学児)</p>	<p>①城山文化センターまつり児童館コーナーにて実施</p> <p>②未就学児保護者対象のドリンクサービス(豆から挽いてdripcoffee)</p> <p>③中高生タイムホットドリンクサービス</p> <p>④親子で体操</p> <p>⑤絵本を仕上げて最後に発表会を実施</p> <p>⑥けん玉検定表を基に児童館で認定し、認定証がもらえる。</p> <p>⑦未就学児クラスと小学生クラスに分かれて実施未就学小学生共に発表会も行った</p> <p>⑧週1で定期練習があり、地域のイベントにも参加</p> <p>⑨未就学から中高生までの合同イベントスライム作り</p> <p>⑩アトリエで自由に作れる期間を設定し実施</p> <p>⑪夏の楽しい計画立てようカレンダーづくり。日にちは消しゴムはんこで</p> <p>⑫ゆうしの里山で焼き芋・丸太の看板・丸太のキーホルダー・クラッシュビー玉づくり。焼き芋と、豆から挽いたドリップコーヒーでカフェタイム</p>	<p>①多世代が参加したい内容にするため、児童館での工作も内容に取り入れた。</p> <p>②足を運ぶきっかけ、職員と話すきっかけになり、利用者同士の交流となっている。普段親子ではなかなかゆっくりいけないカフェ気分を味わってもらい少しでも心が休まる場になると良い。</p> <p>③職員と話さずきっかけになり、飲んでいる時間に話が弾むこともあり良い時間。</p> <p>④講師の先生の育児対話も人気で育児相談するのを楽しみに来ている親子もいる。長年児童館で講師をして下さっているの、世代を超えて利用をする親子に親しまれている。</p> <p>⑤プロジェクトで発表会をすることが出来た。自分の作品を見られる場が出来て嬉しそうにしていた。</p> <p>⑥1人でも、いつでも遊べるけん玉利用の促進のため設定。</p> <p>⑦ダンスの発表会を目指して出来るように発表会の設定が喜ばれている。</p> <p>⑧地域のお祭りなどにも積極的に参加。</p> <p>⑨未就学児から小学生まで幅広く楽しめる内容は異年齢交流が良い雰囲気。</p> <p>⑩・⑪いつでも自由工作が出来るアトリエプラス今作れるものとして設置することにより利用に繋がっている。</p> <p>⑫今年度初めての試みで山カフェ実施。利用者にも喜んでいただき、ゆうしの里山での自然活動の機会を今後も計画していく。(ゆうしの里山カフェにネーミング変更予定)</p>

図書館課	*ブックスタート事業	*3~4ヶ月児健康診査(保健センターで実施)の対象となる親子へ、絵本を通じた親子のふれあいの時間を持つ契機となるよう、絵本及び図書館に関する案内書をまとめた「赤ちゃんパック」をプレゼントしている。(月4回程度実施)	*健康診査の対象者のほぼ全数に対して「赤ちゃんパック」を配付できており、絵本を通じた親子の絆の涵養に貢献している。 また、本事業をきっかけに図書館の利用登録や、読書通帳を作成する方もおり、図書館の利用促進の一助になっている。
	*子供向け講座	*図書館・城山体験学習館で実施している子供向け体験行事の一部について、親子での参加も可能としている。 *科学あそび講座(7/20実施) 「音のふしぎ 色のふしぎ」をテーマに、生活に身近な素材を使った実験や工作に取り組んでいただいた。	*親子で協力して課題に取り組むことで、家族で科学について楽しく学ぶ機会を提供することができた。
稲城市 少年消防 クラブ	*クリスマス会	*毎年歳末警戒後、クラブ員と役員(父母)がクリスマス会を行う。	*地域及び家庭での防火・防災意識の啓発と共通の話題により、クラブ員や役員相互に交流を深める機会となっている。
青野地区 青少年育成 委員会	*子ども祭り・盆踊り	*6ブロック(中島・榎戸・松葉・根方・塚戸・宿三谷)で子ども祭りを実施。	*イベントを実施することで、参加された地域の皆さんが、老若男女問わず、交流するきっかけになり人材交流ができた。 また、これまで各ブロック独立してイベントを実施していたが、本年度はブロック間でお互いにフォローしあうことで全ブロックでのイベント実施ができた。
青長沼地区 青少年育成 委員会	*塞の神 (1月11日準備・12日本番)	*無病息災を願った。 *子どもたちに行事の意味を知ってもらう取組。	*火気取り扱いや、強風対策などを考えていきたい。
青大丸地区 青少年育成 委員会	*灯りの祭典 12月6日(土) *どんど焼き 1月12日(月・祝)	*大丸地区会館で灯ろうを作り、紙コップ、ピンポン玉等を使ったアナログゲームを楽しんだ。 日没後、前庭に灯ろうで「考」の文字を作り点灯させた。 *稲城第六小学校校庭にて行う。 当日朝からやぐらを組み、正午に点火した。子どもの昔遊びコーナーも行った。	*紙皿やボールで作ったアナログなゲームで、子どもたちと日没までの時間を楽しく有意義に過ごせた。 日没後、灯ろうをともし、静かな空間で、あかりを見ながら日常を振り返り、平和について「考える」時間を持った。 年齢にかかわらず、ひとりひとりがなんらかのテーマを考えるきっかけにしていきたい。 *地域の方の参加が多く、これまで以上に伝承行事が身近に感じられ、引き継がれるようにアピールした。 伝統行事の継承は望むが協力はできないという声が多い。 方法や条件等、参加のハードルを下げ、協力者を増やしたい。

<p>青少年育成 百村地区 委員会</p>	<p>* 親子走り方教室</p>	<p>* 親子で一緒に早く走れるコツ習得、同時に、パン食い競走を実施。</p>	<p>* 親子で一緒に早く走るためのコツを学び、声掛けや触れ合いながら実践する場となった。イベント日以降も、当日撮影したビデオを見ながらフォームを確認したり、親子の会話に貢献していることを確認した。 * コロナ禍でパン食い競走を見たことも聞いたこともない子供たちが大人に話を聞いている様子があった。家でもやりたいと子供たちが楽しんでた。</p>
<p>青少年育成 坂浜地区 委員会</p>	<p>* ラジオ体操 (8月25日～29日) * キャンプ (10月18～19日)</p>	<p>* 夏休み期間の最終の1週間、二小校庭でラジオ体操をNHKのラジオ体操に合わせて行った。稲城市観光大使の龍井一磨さんに来て頂いて子ども達が体操に前向きに取り組む促しや地域との繋がりを深めた。 * ふれあいの森にて、キャンプを実施。</p>	<p>* (ラジオ体操) 幼児から中学生まで、親子での参加も多くみられ、家庭や学校での話題作りの一助となっている。 * (キャンプ) 帰宅後の家族での会話に繋がったと思う。</p>
<p>青少年育成 押立地区 委員会</p>	<p>* 塞の神</p>	<p>* 昨年同様の手続きを取り、例年通りお炊き上げと餅つきを行いました。</p>	<p>* 多数の方に参加して頂きました。</p>
<p>青少年育成 向陽台地区 委員会</p>	<p>* 向陽台こどももちつき大会 (12月)</p>	<p>* 地域の子供たちに、お餅を自らの手でつくことを体験して、日本の伝統的な食文化について知ってもらう。</p>	<p>* 「餅つき」という昔ながらの「食」と「伝統」を考えながら楽しんでもらえたと思う。そして家庭でも体験したことを話題にしてもらえたら、さらなる「食育」に繋がると思う。 一方で食中毒やウイルス感染症などへの意識を持つことで食の安全についても学んでもらえたと思う。</p>
<p>青少年育成 長峰地区 委員会</p>	<p>* 星を見る会 * 花火会 * 餅つき会</p>	<p>* 長峰小学校校庭での、星空観察会。 * 長峰小学校校庭での手持ち花火の一斉実施および吹上げ花火の鑑賞会。 * 臼と杵での餅つき体験および昔ながらの正月遊びや正月飾り作り体験会。</p>	<p>* 星の見える街・長峰の特性を活かし、天体望遠鏡4台による星の観察とメンバーによる解説、約80名の親子に参加いただいた。 * 広い校庭で約150名の親子が花火を楽しみ、夏の最後の思い出を作ることができた。 * 臼と杵で作る餅や独楽・羽子板・凧作りなどの昔遊び、藁を編んでのしめ縄作りなど、正月の伝統を継承。</p>
<p>青少年育成 若葉台地区 委員会</p>	<p>* 親子屋外映画会 & 大スイカ割り大会(7月26日) * 子供神輿の巡行(9月21日) * 地区キャンプ(11月1日)</p>	<p>* 校庭で星空の元での映画鑑賞及び夏の定番「大スイカ割り大会」。 * 地域(坂浜、長峰、若葉台)の伝統行事である、神社例大祭に参加。 * ふれあいの森での、炊事、創作、ゲーム、キャンプファイヤーを体験。</p>	<p>* 親子で地域の方々と一緒に非日常体験を通じた思い出づくりができた。 * 洗練されて若葉台の街並みと伝統的なお神輿巡行を体験し、改めて、地域のポテンシャルを認識することができた。 * 自然豊かな環境の中で、親子で地域の方々と一緒に非日常体験を通じた思い出づくりができた。</p>

令和7年度の青少年を対象とした育成事業実施状況報告書（令和8年1月13日現在）

【健全育成の推進方針】2.「生きぬく力」を育てる教育活動の推進

実施主体 団体名	実施事業名	事業の取組の概要 (テーマ・日時・対象・人数等)	成果及び課題
<p>稲城市 民生協 生活福祉課 児童委員協議会</p>	<p>* 朝のあいさつ運動</p>	<p>* 民生委員・児童委員が小・中学校の校門前、通学路に立ち、登校する児童・生徒に対しあいさつを行う。</p>	<p>* 登校する児童・生徒にあいさつ運動を行うことで、児童・生徒の安全を見守っている。</p>
<p>児童館</p>	<p>【本郷児童館】 ①各種大会 ②JUMP-JAM ③季節の製作</p>	<p>①毎月文化系・スポーツ系の大会を開催している。 ②児童健全育成推進財団推奨の運動プログラム。小学生以上の子どもの運動する機会を月1で設けている。 ③それぞれ季節の工作を毎月実施。</p>	<p>①大会に参加することで自信となったり、チームの力を考えたりする様子がある。得意なものだけでなく「やってみよう」の気持ちが育まれている。 ②運動あそびを通して、自分たちで考えて遊びを進めていく想像力や、普段より多く体を使う体力づくりの機会となっている。 ③季節を感じ、その季節の中でできるものを考え実行していく。職員や友だちに教えてもらったり聞いたりすることで質問する力や理解する力が養われた。また観察力や創造力が養われた。</p>
<p>児童館</p>	<p>【第二文化センター児童館】 ①ドッチビー ②クラフトタイム ③カプラであそぼう！ ④自由工作の日 ⑤プラ板工作の日 ⑥かんたんおりがみ工作コーナー</p>	<p>①月一度実施。外庭で遊ぶことで体力、集中力を養う。 ②月一度実施。工作を楽しみながら自己を表現したり集中力を養う。 ③月一度実施。作品を写真に撮りカードにして持ち帰る。自己肯定感を高めたり、コツコツと作業をすることで集中力を養う。 ④不定期に実施。手先を使い工作を楽しみながら自己を表現したり、集中力を養う。 ⑤不定期に実施。プラ板工作を楽しみながら、自己肯定感や達成感を味わう。 ⑥月に1～2種類、季節の行事などを感じる工作を実施。</p>	<p>①ドッチビーの投げ方やコツを教わりながら異学年の参加者と交流することができた。参加者の体力や精神力、集中力を養う場になった。 ②手先を使い作品を仕上げることで自己肯定感や集中力が高まり、また、個性を表現する場となった。 ③崩れたり壊れたりしながらも工夫して積むことで「諦めない力」を育てる場となった。達成感を味わい自己肯定感が育まれた。 ④手先を使い作品を仕上げることで自己肯定感や集中力が高まり、また、個性を表現する場となった。 ⑤手先を使い作品を仕上げることで自己肯定感や集中力が高まり、また、個性を表現する場となった。 ⑥職員や友だちに教えてもらったり聞いたりすることで質問する力や理解する力がついた。また観察力や想像力が養われた。</p>

児童館

<p>【第二文化センター児童館】</p> <p>⑦キッズクッキング ⑧黒板アートに挑戦！ ⑨アイロンビーズの日 ⑩意見箱設置 ⑪卓球マナー向上委員会の設置 ⑫ハゲタカのえじき大会の実施 ⑬ストライク大会の実施</p>	<p>⑦不定期に実施。食に興味を持ち、喜びと感謝を知る。 ⑧初めての実施。講師を招き、アートを体験する。 ⑨12月に初めて実施。手芸に興味をもち、手先を使い自己表現をしたり、集中力を養う。 ⑩11月より。子どもが意見を述べる場の提供。 ⑪子どもたちが自発的に発足する。卓球のマナーを向上し、道具を大切にするなど働きかけを行う。 ⑫子どもたちが自発的に行う。このゲームの楽しさを広めたい思いで実施。 ⑬子どもたちが自発的に行う。このゲームの楽しさを広めたい思いで実施。</p>	<p>⑦食べ物に触れることで食のへ興味と感謝を持ち、自分で作ることで自信につながり、仲間との連携で交流が生まれ、家で話し保護者とのコミュニケーションにつながった。 ⑧黒板アートを通して芸術に触れ、自己表現や達成感を育まれた。また、自分の作品をチェキで撮ってもらい、保護者に見せることでコミュニケーションを持つ機会となった。 ⑨手先を使い作品を仕上げることで自己肯定感や集中力が高まり、また、個性を表現する場となった。 ⑩自分の意見を職員に伝えることで、自主性を育み、その答えを掲示することで権利の主体であることを実感することができる。 ⑪自治・協力・問題解決・コミュニケーションなどの社会的スキルを育てる良い機会となった。 ⑫企画した子どもたちの自主性・主体性が育まれ、企画力・運営力などを養う機会となった。 ⑬企画した子どもたちの自主性・主体性が育まれ、企画力・運営力などを養う機会となった。</p>
<p>【第三文化センター児童館】</p> <p>①かんたん工作コーナー</p> <p>②クラフトの日</p> <p>③Tシャツスタンプに挑戦！ ④黒板アートに挑戦！ ⑤プラバンの日 ⑥アイロンビーズの日 ⑦おおそうじの日</p>	<p>①気軽に簡単に工作ができるコーナー。月2～3回テーマを変えて実施。身近な材料で簡単にできる工作や季節の行事をテーマにした工作を実施。 ②小学生を対象に月1～2回実施。 ③年1回実施。講師を招いてTシャツにスタンプを押しオリジナルTシャツを作る。 ④年1回講師を招き、低学年、高学年でテーマを分けて実施。 ⑤年3回実施。好きな絵を描きキーホルダーを作る。 ⑥年1回実施。キーホルダーを作る。 ⑦年末に1回実施。館内や遊具の拭き掃除をする。</p>	<p>* 職員や友だちに教えてもらったり聞いたりすることで質問する力や理解する力が養われた。また観察力や創造力が養われた。 * 参加者同士や講師との関わりを通して交流の場となった。</p>
<p>【第四文化センター児童館】</p> <p>* 各種工作教室</p>	<p>* 工作、折り紙、簡単な実験の機会を提供。</p>	<p>* 異年齢での関わりもあり、教えたり教えられたり関わりが持てる。手先の器用さが養われ、自信や達成感が持てる。</p>

児童館

【城山文化センター児童館】

- ①レトロ運動会
- ②ネオホッケー大会
- ③お絵かきべっこう飴づくり
- ④コマ回し大会
- ⑤ドッジボール大会
- ⑥BBQカートドック
- ⑦わたあめづくり
- ⑧Eスポーツ大会
- ⑨ポップコーンづくり
- ⑩ぬいぐるみづくり
- ⑪フラワーポンポンづくり
- ⑫フットサル大会
- ⑬紙ポクターづくり
- ⑭チョコマシュマロづくり
- ⑮ガチなフットサル大会
- ⑯サッカー教室
- ⑰バレーボール大会
- ⑱黒板アートの日
- ⑲お正月飾りづくり
- ⑳芋煮会(城児ファーム)
- ㉑卓球大会
- ㉒neononeサッカー大会

- ①2グループに分かれ運動会
- ②グループ対抗戦ネオホッケー大会
- ③べっこう飴で絵をかいてみる
- ④新しいコマの入荷の日にコマ回し大会も行った
- ⑤来館者ご意見箱より当選意見
- ⑥児童館外で火おこしをして実施
- ⑦わたあめ作り体験
- ⑧人気のスマッシュブラザーズホールの巨大スリーンにて対決
- ⑨来館者ご意見箱より実施
- ⑩軍手でお手軽人形づくり
- ⑪お花紙で天井装飾
- ⑫来館者当選後意見箱で実施
- ⑬幼児さんも危なくないストローと紙の紙ポクター
- ⑭中学生事業湯煎でチョコを溶かし、マシュマロにトッピング
- ⑮中学生本気のサッカー大会
- ⑯サッカーが得意な職員によるサッカー教室
- ⑰中学生ご意見箱当選意見
- ⑱ボランティアさんによるハロウインの黒板アート
- ⑲児童館で育てたお米を飾る正月リースづくり
- ⑳児童館で採れた里芋とゆうしの里山で採れたキノコ・ネギを材料とし、城児スタッフとボランティアさんで芋煮会
- ㉑利用者当選意見卓球大会
- ㉒サンタからのプレゼントのゴールでneononeサッカー大会

- ①だれでも参加でき異年齢交流となった。
- ②児童館で根づいた人気スポーツ初めて知る子も多く今後も広めていく。
- ③中高生が参加したいと思う事業を中高生の意見や様子を見て今後も考えていく。
- ④コマや、けん玉等1人から遊べるあそびを充実しお友達と関わるきっかけになるとよい。
- ⑤ドッジボールは学年問わず人気地域外の学校からの参加もあった。
- ⑥特別感があるようでまたやりたい！と喜ばれた参加者同士仲良くなっていく。
- ⑦なかなか自分で作ることもなく付き添いの保護者も楽しんでた。
- ⑧ゲームが得意な子が一目置かれ普段対戦しない同士の交流となり会話が弾んでいた。会場は大盛り上がり。
- ⑨食べるイベントは年齢関係なく人気会話も弾む。
- ⑩参加者1名と少なかったが、かわいい人形が出来た。材料もあるのでまた実施したい。
- ⑪カラフルな天井装飾喜ばれた簡単でできるのが良かった。
- ⑫審判はいつもいる職員で行い職員共に盛り上がった。
- ⑬作って遊べて楽しめた。
- ⑭新中学1年生が中高生タイムに来れる事も嬉しく、チョコマシュマロづくりも楽しくて中心となって参加していた。他の学年との交流になった。
- ⑮中高生タイムでの実施。はじめは恥ずかしい様子もあったが円陣を組んで掛け声を出したり一生懸命参加する姿が見られて盛り上がった。学年も学校も違うが、スポーツを通して清々しい交流となった。
- ⑯いつもいる職員の指導で親しみが持てた。
- ⑰バレーボールチームポピンズコーチによるバレーボール大会。コーチが来ることで引き締まった。前もって下見に来る参加中学生もいた。
- ⑱同じ施設内の公民館職員との良い交流になった。
- ⑲城児ファームのお米が活用できた。土曜日実施の為参加しやすいと好評
- ⑳収穫や食べることが入るとやりたい気持ちが湧くので、連続して参加できるように設定していきたい。
- ㉑普段遊べる卓球が大会がある事でやる気になっていた。職員とも良い交流となった。
- ㉒ミニサッカーゴールで1対1の大会グループで参加よりも個人参加が出来るので参加しやすい。

図書館課	<p>* 市内企業による科学分野に関する講座</p>	<p>* 市内のIT企業・株式会社KSKIによる「mBotを使ったプログラミング教室」 (7/26実施、2/14実施予定)</p>	<p>* 「mBotを使ったプログラミング教室」7/27実施回には、18人が参加した。市内企業・市内在住者による講座の開催により、児童・生徒の理系分野に対する興味・関心を高める取組みの一助となっている。 また、講座形式の図書館イベントにおいては、会場で関連資料の展示も同時に行っており、資料貸し出し数の増加にも寄与している。</p>
	<p>* ヤングアダルト向けイベント等</p>	<p>* 本や文章を紹介した他者とのコミュニケーションの場を通じて、青少年の知的好奇心と言語的表現力を培うのに資するイベントを開催した。</p> <p>* いなぎ多読らぶ 参加者一人一人が自分のレベルに合った英語の本を読み進めながら英語に親しむとともに、参加者同士で興味のある本についての情報交換を行う。入退場自由。 (毎月第2土曜日実施)</p> <p>* ビブリオバトル (7/27実施、17人参加)</p> <p>* ショートショート書き方講座 作家の田丸雅智氏を講師に招き、浮かんだアイデアを物語として実際に文章化するまでを体験する。 (2/22実施予定)</p>	<p>* 「稲城多読らぶ」には毎回5人程度の参加をいただいている。</p> <p>* 図書館では、「ヤングアダルト向けイベント」の一環として、ここ数年職業文章家による講演会・ワークショップを実施しており、参加者のリテラシー向上に寄与している。 今後も若年層が楽しみながら文章に親しみ、言語能力を伸ばす機会を提供していけるよう、題材や広報手段を工夫しながらイベントを開催していきたい。</p>
稲城市 少年消防 クラブ	<p>* 防災施設での体験学習</p>	<p>* 本所防災館で防火・防災に必要な知識を習得及び団体生活の規律をとおして、礼儀正しい立派な社会人に育成することを目的とする。</p>	<p>* 消火器の取扱いや煙体験による避難の難しさ、水害時の被害等について学ぶことができた。また、防災映画の鑑賞により過去の災害や自分たちができる対策について考えることができた。</p>
指導課	<p>* 宿泊体験学習</p>	<p>* 小学5年生の活動：稲城ふれあいの森での自然体験活動を実施。 * 小学6年生の活動：2泊3日で野沢温泉村を訪れ、民宿による宿泊生活や自然体験、村内散策、伝統工芸品作り体験を実施。 * 中学校1年生の活動：2泊3日で野沢温泉村を訪れ、民宿による宿泊生活やスキー体験を実施。 * 様々な体験を行う中で、社会的な自立を目指す素地を培う。</p>	<p>* 稲城ふれあいの森の自然や施設を十分に生かし、活動することができた。 * 野沢温泉村宿泊体験学習では、小学校6年生は普段体験することのできない様々な取組を通して、人や自然と関わることの良さや工夫等を学ぶとともに、主体的に活動に取り組む態度を育成することができた。 * 中学校1年生の野沢温泉村宿泊体験学習については1月中旬から下旬で実施予定。</p>
市立学校 PTA 連合会	<p>* 読み聞かせ</p>	<p>* 朝の会の時間を用いて月1回程度保護者有志が児童に向けて本の読み聞かせを行う。</p> <p>長峰、向陽台、平尾、南山、四小、六小、七小</p>	<p>* エプロン購入(六小) -ポランティア実施時のユニフォーム的位置づけ および市の図書館整理時にも利用</p>
青少年育成 地区委員会 委員長会	<p>* 青少年育成地区委員会合同研修会(予定)</p>	<p>* 東京都地区委員会なんでもアドバイザーを活用し、講演会を実施予定。 テーマ：「新たなイベント実施のノウハウ」 【期 日】令和8年2月1日(日) 【講 師】前原 大輔氏</p>	<p>* 東京都地区委員会なんでもアドバイザーを活用し、前原 大輔氏を講師に招き「新しいイベント実施のノウハウ」と題して講演会を実施予定。地区委員会の活動の活性化を図る。</p>

<p>青少年育成 矢野口地区 委員会</p>	<p>* キャンプ</p>	<p>* 榎戸ブロックで9月、根方ブロックで11月にふれあいの森でキャンプを実施</p>	<p>* 自然とふれあう機会が少なくなっている中、榎戸・根方ブロックでキャンプを実施し、計50名以上の方に参加頂くことができ、参加して頂いた方にも好評だった。</p>
<p>青少年育成 東長沼地区 委員会</p>	<p>* 東長沼スポーツ大会 (10月19日) * デイキャンプ(11月16日)</p>	<p>* 競技全体のサポート。 * 様々なレクリエーションで、子どもたちに楽しんでもらえるよう工夫した。</p>	<p>* 役員など人員不足もある。競技に配置するメンバーなど打ち合わせを強化したい。 * 参加した子どもたち、保護者には楽しんでいただけたと思う。他の地域との日程調整や気候状況も見て、取り組みたい。</p>
<p>青少年育成 大丸地区 委員会</p>	<p>* ふれあいの森で焼きいもパーティー 11月9日(日)</p>	<p>* ふれあいの森のかまどを使って焼きいもを作り、自然の中でいただいた。 また、工作やのこぎり体験・自然散策等行った。</p>	<p>* 家族で参加し、稲城の自然を感じることができた。 * 事前登録制にし、人数制限を設けたが、参加者が多くなると、人員・環境面で受け入れができない。</p>
<p>青少年育成 百村地区 委員会</p>	<p>* しめ縄飾り作り教室</p>	<p>* 地区内在住の講師にしめ縄飾り作りを教わる。オリジナルの飾りを作る</p>	<p>* それまで見たことがないコメの藁を束ねて編んでいくという作業を体験できた。</p>
<p>青少年育成 坂浜地区 委員会</p>	<p>* キャンプ (10月18～19日)</p>	<p>* 小学校3年生から6年生までを対象に、ふれあいの森でキャンプを実施。 昼食夕食調理、ゲームや工作、キャンプファイヤーを実施。</p>	<p>* 縦割り班でのゲームや工作を通し力を合わせることの大切さを伝えられた。</p>
<p>青少年育成 押立地区 委員会</p>	<p>* バス見学会</p>	<p>* 多数の親子に参加していただきました。リニアモーターカーについて皆さん興味深く見学し、学んでいました。</p>	<p>* 今後もこのようなイベントがあれば参加したいとお声を、多数いただきました。</p>
<p>青少年育成 向陽台地区 委員会</p>	<p>* 里山ハイキング(4月) ----- * ナイトハイク(9月) ----- * ふれあいの森デイキャンプ(10月) ----- * ナイトアドベンチャー(11月)</p>	<p>* 春の里山をめぐるハイキング(黒川～小野路～多摩中央公園) * 日が落ちてから探検タイム。昼間とは違う景色を楽しむハイキング(聖蹟桜ヶ丘～桜が丘公園～若葉台公園～向陽台) * ふれあいの森で手作りピザを焼こう！(雨天中止) * 灯りのない真っ暗闇の里山を巡る冒険！</p>	<p>* 四季折々の身近な自然を五感を使って感じ取る「力」を育みます。いつもの見慣れた風景も夜はまた違った顔を見せることを感じて自然の奥深さを知る「力」を育みます。自らの手で生地をこね野菜を切り目の前のかまどで焼くピザ作り体験を通して生き抜く力を養って欲しかった。</p>

<p style="text-align: center;">青少年育成 長峰地区 委員会</p>	<p>*地区キャンプ</p>	<p>*小学校1年生から6年生までを対象にした、ふれあいの森での野外宿泊キャンプ。</p>	<p>*6年生、5年生を班長とする縦割り班とし、上級生が下級生の面倒を見、下級生は上級生をサポートしながら自然の中での遊びを児童中心の共同生活の中で体験することができた。</p>
<p style="text-align: center;">青少年育成 若葉台地区 委員会</p>	<p>* 地域交流行事「六中ふれあいの日」(11月8日)</p>	<p>* 稲城第六中学校1年生と自治会等の地域の方々が企画、準備した創作、自然体験、昼食づくり等をして一日を一緒に過ごし、地域とつながりを育む行事で若葉台地区独自のもの。</p>	<p>* 中学生が親族以外の地域の大人たちとふれあい、新たなコミュニティを生み、地域への愛着が生まれる。併せて受け入れる自治会等では、企画、準備をきっかけに近隣同士のつながりを更に育むきっかけとなっている。</p>
<p style="text-align: center;">青少年委員会</p>	<p>* ジュニアワーカーセミナー</p>	<p>* 市内の色々な地域や学校の仲間を作り、様々な体験を通して、地域や学校で積極的に活動できるリーダーシップが身に付くセミナーを実施。 【期 間】5月～12月(全8回) 【対 象】小学5年生～中学3年生 【参加者】48人 【内 容】仲間づくりゲーム、キャンプ研修、夏季宿泊体験(2泊3日)他</p>	<p>* 様々なプログラムを通して、地域や学校で積極的に活動できるリーダーシップを身に付けるためのセミナーを実施することができた。</p>

令和7年度の青少年を対象とした育成事業実施状況報告書（令和8年1月13日現在）

【健全育成の推進方針】3.青少年の社会参加の促進と問題行動を未然に防止する地域活動の推進

実施主体 団体名	実施事業名	事業の取組の概要 (テーマ・日時・対象・人数等)	成果及び課題
子ども家庭支援センター課	* 児童虐待防止事業	* 児童虐待の早期発見・対応を図るため、「もしかして虐待かも?」と思った場合の連絡先を市民に周知する。	* 広報いなぎや市HP等で児童相談所、警察、子ども家庭支援センターの連絡先を市民に周知した。
	児童館	【本郷児童館】 ①児童館・学童クラブまつり ②子どもスタッフ	①こどもたちが自らお店、内容、接客プランを考えて地域の方を招いたおまつりの実施。 ②社会福祉協議会と共同で運営する「もりもりファーム」にて作物等の植え付け～収穫までの管理を子どもスタッフが行う。
【第二文化センター児童館】 ①じどうかんってどんどこ? ②夏のこわいおはなし会 ③おもしろ科学教室		①4月に2回程度実施。主に小1児童を対象に児童館の利用の仕方、ルールなどを伝える。最後に工作を楽しむ。 ②夏休みに1度、初めて実施。読み聞かせボランティア「お話レストラン」に依頼。 ③夏休みに一度、講師を招いて実施。身近にある科学を学ぶ。	①児童館が安全な場所であることや、居場所としていつでも利用出来ることを学ぶ場となった。工作ではビュンビュンゴマを作り、創造性や豊かな心を養った。 ②怖い話を聞くことで集中力を養い、物語りに親しむことで感情理解や共感性など、社会性の成長を育む場となった。 ③身近な物に対して興味や関心を持ち、自主性や主体性を育むことができた。
【第三文化センター児童館】 ①じどうかんってどんどこ? ②第三文化センター児童館・学童クラブまつり平尾まつり		①4月に実施。児童館の利用方法やルールを劇で説明。ゲームやダンスをして児童館の楽しさを知ってもらう。 ②子どもたちにまつりの作品展示物や装飾、手作りおもちゃ作りの協力を募り、準備をした。また、子ども実行委員を募集し、おまつり看板づくりやゲームコーナーのお手伝い、司会進行などを行った。	①児童館の利用の仕方を知り、一人で来ても自由に楽しく利用できることを知ってもらうきっかけとなった。 ②おまつり準備活動を通じ、子ども同士や地域の大人との交流が図られ、社会性が養われた。
【第四文化センター児童館】 * 第四文化センターまつりへの参加（予定2月）		* 児童から実行委員を募り、準備と当日のスタッフとして活動。 対象は、小学校3年生以上。12人の定員。まつり当日を合わせて5回実施。	

<p style="text-align: center;">児童館</p>	<p>【城山文化センター児童館】</p> <p>①中高生タイム ②FFの日 ③城児スタッフの日 ④高校生ボランティアの受け入れ ⑤ゆうしの里山カフェ(小学生)</p>	<p>①平日17時～18時実施中高生だけの時間 ②毎週水曜日17時～19時児童館のホールとプレイルームを使用 ③城児スタッフに登録し、児童館の運営にかかわる ④中高生ボランティア1名10日間の受け入れ。 ⑤ゆうしの里山でくし巻きパン作り(春休み)</p>	<p>①17時前も中高生の利用が出来るが17時から来館する中高生が多い。長く開けてほしい要望が多くある。 ②水曜日は部活動が休みの学校が多く、賑やか。当初はホールだけの開放だったが、ダンスや、楽器の練習する中高生のために大きな鏡を付けたプレイルームも開放した。バンド練習等に利用してくれることを期待している。 ③こどもの意見を児童館に取り入れ運営に生かしていく。 ④高校生は来館児童にも人気で小学生が甘える姿があった。もともと公民館の利用をしたことがあるとのことで選んでくれたそう。高校生も交流を嬉しそうにしていた。未就学児親子もなついていた。 ⑤山で自然の魅力を感じてもらおう。</p>
<p style="text-align: center;">図書館課</p>	<p>* 図書館業務体験</p> <p>* 中学生向け広報紙の発行</p> <p>* 近隣高等学校との連携</p>	<p>* 職場体験学習等受入れ 市内中学校及び都内高等学校におけるキャリアデザイン教育の一環として、各館で職場体験学習等の受入れを行った。 (7/29～11/28の間で断続的に実施)</p> <p>* 一日図書館員 小学生を対象に、一日図書館員体験を実施した。 (8/4、8/5、8/18及び8/19実施)。</p> <p>* 中高生のボランティアが、中高生向けの広報紙(年4回発行)の編集作業に携わっている。</p> <p>* 市内高等学校における出張登録会や、生徒による作品の展示等、図書館の利用促進を図るとともに、図書館を表現活動の場として活用する事業を行った。</p> <p>* 駒沢学園女子中学校・高等学校 ・出張登録会 5/12～5/13 ・学内ビブリオバトル「コマリオバトル」において「図書館賞」を贈呈 6/21 ・中央図書館来館者延べ1,000万人達成を記念し、華道部作品を展示 10/3～10/6 ・生徒作成のポップの館内展示 中央図書館 11/8～11/23 iプラザ図書館 11/28～12/14</p> <p>* 東京都立若葉総合高等学校 ・出張登録会 7/14～7/15実施 ・生徒作成のポップの館内展示「若総の推し本」 中央図書館 8/16～8/31 iプラザ図書館 9/3～9/15 ・美術部作品展示「絵×文 この絵に、どんな文を添えますか。」10/10～11/10(作品に添える短い詩文を併せて募集し、集まった作品を12/1～1/18の間中央図書館入口で展示)</p>	<p>* 普段目にする事の無い図書館の裏側の仕事を通じて、児童・生徒・学生の社会体験の場を提供できたとともに、生涯学習の場としての図書館に対する興味・関心を喚起する機会となった。 受入れ人数 職場体験学習等:43人 一日図書館員:16人</p> <p>* 各館において、通常業務と並行で生徒・学生の実習受入れが円滑に行えるよう、業務過多にならない時期の選定及び生徒・学生派遣元のサポート体制の強化が課題である。</p> <p>* 広報紙作成を担うボランティアの継続的確保が求められている。 引き続き、中高生が図書館に興味・関心を抱くような取組みを進めていくことが必要である。</p> <p>* 引き続き、中高生が図書館に興味・関心を抱くような取組みを進めていくことが必要である。</p>

稲城市 少年消防 クラブ	* 歳末警戒に伴う巡回広報	* 歳末にクラブ員と役員が、地元地域を周り、火災予防のチラシを配布し火災予防を行う。	* 歳末警戒を通じて、地域住民に対する防火・防災の意識付けの一助として活動することにより地域と関わりをもつ機会となっている。また、防火に関する活動、火災予防の啓発ポスターを作成することで火災予防の重要性を学び将来の防火防災リーダーとしての意識付けと健全な精神の育成につながった。
	* ポスター集会	* 火災予防の広報として、火災予防啓発ポスターを作成し春の火災予防運動期間中に中央文化センター1階ロビーに掲出する。	
P T A 連 合 会 市 立 学 校	* 市内一斉パトロールへの参加促進 (全校すべて) * 地域祭りへのボランティア参加促進(三中)	* 祭りボランティア -生徒内有志 * 地域パトロール(二小) -青少育と合同 * ボランティア部(五中) -手作り市民祭り	* ボランティア人材の不足
青少年育成 地区委員会 委員長会	* 市内一斉夜間パトロール	* 「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に合わせ、青少年育成地区委員会による市内一斉夜間パトロールを実施 【日時】7月25日(金) 20時～22時	* 各地区で実施
青少年育成 地区委員会 矢野口地区 委員会	* 夜間パトロール	* 夏休み期間中に2回、21時より1時間実施。 各ブロックにわかれ、各団体さんと協力し通学路や公園、街灯や危険な箇所がないかなどをチェック。 * 市内一斉パトロールも参加。	* 子供たちだけでなく、一般の方々にも地域ぐるみで見ているぞ！という意識づけになっている。
青少年育成 地区委員会 東長沼地区 委員会	* 東長沼みなみ会盆踊り大会 (8月4日・5日)	* 焼きそば、フランク、ジュースなど販売。子どもたちにも手伝ってもらい、大きな事業となった。	* 夜間でも気温が高く、さらに火気も使う事業なので、熱中症対策などもしっかり考えていきたい。
青少年育成 地区委員会 大丸地区 委員会	* 夜間パトロール * ゴミ拾いパトロール	* 年間4回実施 (7月・9月・11月・3月) * 年間2回実施 (9月・2月)	* パトロール中に子どもへの声掛けをすることで、大人が見守っていることをアピールし、犯罪の抑止になる。 * 街をきれいにすることでのごみ捨て抑止と、青少育活動のアピールができた。
青少年育成 地区委員会 百村地区 委員会	* 小中学生の地域活動参加(盆踊り大会出店ボランティア、堅神社例大祭 出店ボランティア) * 例大祭の子ども神輿参加者の募集、サポート	* 8月の百村地区盆踊り大会、10月の堅神社出店に小中学生のお手伝いを呼びかけ、地域活動や地域行事に積極的な参加を呼びかけた。 * 地域行事(子ども神輿)への参加を呼びかけ。	成果:小中学生が積極的に参加してくれた。神社例大祭の出店にも積極的にお手伝いを名乗り出てくれた。地域行事が多くの人の手で作り上げられていること、販売の仕事が簡単ではないこと、などを知ってもらう機会となった。課題:幅広い子供に来てもらうことも必要。1、2回来るとその次は来ない子供が多い。継続的な、お手伝い募集の告知の方法を要検討。
青少年育成 地区委員会 坂浜地区 委員会	* 塞の神 (1月11日～1月12日)	* 塞の神の建では、二小長峰小児童、二中六中生徒のボランティアに地域行事に参加いただきながら、有識者の指導のもと行事を実行。	* 伝統行事を引き継いでいく担い手として小中学生に参加してもらい、幅広い世代の方々との交流をした。

<p style="text-align: center;">青少年育成 平尾地区 委員会</p>	<p>*例大祭 9月28日(日)</p> <p>*どんど焼き 1月12日(月・祝)</p>	<p>*平尾小学校の児童を中心に、子供神輿の担ぎ手と山車の引手を体験。</p> <p>*日曜日に二中の生徒にボランティアで集ってもらい、裏山からやぐらの素材となる竹を切り出し、切ったり割ったりして一緒にやぐらを作成した。お昼は全員で平尾小の保護者のかたが作った豚汁を食べ、交流を深めた。</p>	<p>*地元の神事に参加したり体験することで、地域の方との繋がりを感ずることができ、交流が深まったと感じる。</p> <p>*子供たちに積極的に声をかけ、このような活動が楽しいものだと感じてもらえるよう工夫した。子供たちにおいては、参加したいというポジティブな感情が芽生えたのではと期待する。またこの経験が地元愛に繋がっていくことも期待したい。</p>
<p style="text-align: center;">青少年育成 向陽台地区 委員会</p>	<p>*向陽台ジュニア環境パトロール (6月・3月)</p> <p>*青少年育成会一斉夜間パトロール(7月)</p>	<p>*自分たちの町を自分たちの手できれいにしよう！ポイ捨てごみを一掃してポイ捨てしにくい町にしよう！</p> <p>*気の緩みがちな夏休みに地域の団体(PTAやおやじの会)の協力を得て地域のパトロールを行います。</p>	<p>*幹線道路を中心にポイ捨ての多い箇所をみんなでごみ拾いすることで、ポイ捨ての抑止に繋がるばかりでなく、地域の人たちから声をかけられることで自分たちのアクションが地域のために繋がっていることを認識できる非常に貴重な体験の場となっています。</p> <p>*地域の他団体と連携して行うことが地域の防犯に繋がっていると感じます。</p>
<p style="text-align: center;">青少年育成 長峰地区 委員会</p>	<p>*各活動</p>	<p>*長峰小学校卒業の中学生や高校生が複数名スタッフとして各活動に参加。</p>	<p>*スタッフとして参加することで、地域社会の一員としての活動を経験し、委員を始めとする大人と関わることで、年代を超えた人間関係を構築することができた。</p>
<p style="text-align: center;">青少年育成 若葉台地区 委員会</p>	<p>*若葉台みんなの居場所「つながりーヨ」(通年)</p>	<p>*毎週水曜日(午後3時から9時まで)に、いなぎ i プラザの大会議室にて、主に地域の年長者が、小中学生を対象に放課後の居場所づくりを実施した。地域の子どもたちを見守り育てるとともに、中学生の学習支援を行った。</p>	<p>*今年度で発足から16年目となり、年間約2,500人の児童・生徒の放課後の居場所を提供した。今後は、更に幅広い年齢層のスタッフで子供たちの見守り、ふれあい交流を実施していく。</p>
<p style="text-align: center;">青少年委員会</p>	<p>*青年ワーカーセミナー</p>	<p>*年齢や生活環境の異なる仲間と様々な体験を通して、地域や社会で実践できるスキルが身に付くセミナーを実施。この他、ジュニアワーカーセミナー、地区行事等にも参加。</p> <p>【期間】5月～3月(全6回) 【対象】16歳～26歳 【参加者】12人 【内容】、お気に入りの本の紹介しよう、星座について調べよう、身近な不思議を探そう、物語の続きを考えよう、宿泊研修(1泊2日)他</p>	<p>*地域や社会で活躍できるリーダー養成事業として、参加者がいろいろな体験ができるセミナーを実施することができた。</p>

令和7年度の青少年を対象とした育成事業実施状況報告書（令和8年1月13日現在）

【健全育成の推進方針】4.関係機関及び行政の連携強化

実施主体 団体名	実施事業名	事業の取組の概要 (テーマ・日時・対象・人数等)	成果及び課題
日野・多摩・稲城地区 保護司会 (生活福祉課)	* 社会を明るくする運動	* 7月1日(火) 参加者:日野・多摩・稲城地区保護司会、日野・多摩・稲城地区更生保護女性会、自治会連合会、民生・児童委員、青少年委員、青少年育成地区委員会、東京稲城ロータリークラブ、薬物乱用防止推進稲城市協議会、多摩稲城防犯協会稲城地区、地区体育振興会、大丸婦人会、多摩中央警察署、市議会議員、社会福祉協議会、東京保護観察所立川支部、中学生及び教職員 293人 * 7月11日(金) 参加者:日野・多摩・稲城地区保護司会稲城分区、日野・多摩・稲城地区更正保護女性会稲城分区 * 7~8月中旬に開催する各地区の夏まつり等での地区関係者との連携によるウェットティッシュの配布。 * 作文コンテストへの協力 対象校:稲城第二中学校から85点の応募があった。	* 市内6駅頭及び平尾団地バス停の7箇所で、ウェットティッシュを配布し、広報活動を行った。さらに、読売巨人軍の試合開催日にジャイアンツ球場で、ウェットティッシュを配布し、広報活動を行った。また、各地区の盆踊りや夏まつりでも啓発活動を実施した。 稲城市独自の地域に根ざした幅広い活動を展開することで、関係機関や団体との連携が強まり、安全で安心して暮らせる明るい社会づくりの機運を醸成した。 * 中学生に日常の家庭生活や学校生活の中で、体験したことを基に、犯罪・非行のない地域社会づくりや犯罪・非行をした人の立ち直りについて考えたこと、感じたことを作文に書くことを通じて、本運動に対する理解を深めてもらった。
稲城市民生児童委員 協議会 (生活福祉課)	* 稲城市児童委員、児童相談所、学校、子ども家庭支援センター等の関係機関による地区連絡協議会	* 日時:9月5日(金)13時~16時 参加人数:67人 令和7年度協議会テーマ: 第一部「ヤングケアラーの理解と支援 気づくために」 第二部「ヤングケアラー経験者から学ぶ」 講師の方をお招きし、「ヤングケアラー」に関する講演を通して、地域や学校の課題・ヤングケアラーについて学ぶことにより、相互の理解を深め、関係機関の協働関係を強化し児童福祉の向上を図る。	* 民生・児童委員、多摩児童相談所職員、市内各小中学校の生活指導の担当教諭、子ども家庭支援センター職員、多摩中央警察署職員だけでなく、「地域福祉」に関わる稲城市社会福祉協議会職員、いなぎ社会福祉士会職員などにも参加をいただき、幅広い連携強化が図れた。
子ども家庭 支援センター 課	* 要保護児童対策地域協議会	* 地域の関係機関とネットワークを構築し、支援が必要な子どもの早期発見や情報共有、支援を行う。	*代表者会議(関係機関の連携等)を1回開催。 *虐待進行管理会議(児童相談所と子ども家庭支援センターの情報共有等)を3回開催。 *個別ケース検討会議を随時開催。
児童館	【本郷児童館】 ①山カフェ ②児童館・学童クラブまつり ③ダンス発表&体験DAY	①城山文化センター児童館との合同企画。法人の里山を利用し施設連携、交流を行う。 ②協力:「なえぎ」模擬店、「コラボいなぎ」模擬店、ボランティアスタッフ ③3月末に近隣児童館との合同ダンス発表会の実施。講師の先生を招いたダンススクールの延長で行う。	①今年初の試みとなったが、法人や連携施設としての強みを生かし自然教育を発信できた。来年度以降も積極的に実施したい。 ②去年同様の関係機関にご協力いただき今年も大盛況となった。ボランティア登録してくださっている地域の方々とも協力し合える機会となった。 ③スクール同士の交流や刺激、子どもや保護者との交流などを増やせる機会とする。

<p>【第二文化センター児童館】 ①第12回「稲城なしのすけ」ぬりえコンテスト ②児童館・学童クラブまつり ③にぶんまつり(予定)</p>	<p>①年に一度実施。応募作品は展示され、入賞者は児童館・学童クラブまつりで表彰される。 ②11月に実施。児童館・学童クラブの子どもたちにまつりの作品展示物や装飾・事前準備などの協力を募り、おまつりに関わった。わくわくクラブは、看板や装飾の製作のお手伝い、司会進行などを行った。 ③文化センターのおまつりに児童館コーナーとして参加。わくわくクラブは、装飾の製作や担当コーナーのお手伝いをする。</p>	<p>①色の選び方や塗り方、背景の描き方で個性を出し、子どもの創造性・表現力を育てる場となった。また、完成した作品を見てもらえることで、自己肯定感が高まった。 ②大人の支援や見守りを得ることで事業が円滑に実施できた。また、児童の自信につながり、社会性を養う場となった。 ③地域の文化センターとの交流で社会性を養う場となる。また、臨機応変に活動することで児童の自信につながる。</p>
<p>【第三文化センター児童館】 * 第三文化センター児童館・学童クラブまつり、平尾まつり</p>	<p>* 文化センターまつりと同時開催。閉会式を児童館で実施し児童館実行委員会による司会進行、ダンスの発表を行った。</p>	<p>* 大人の支援や見守りを得ることで事業が円滑に実施できた。また児童の自信につながり、社会性を養う場となった。</p>
<p>【第四文化センターまつり】 * 第四文化センターまつりへの参加(予定2月)</p>	<p>* 児童から実行委員を募り、準備と当日のスタッフとして活動。対象は、小学校3年生以上。12人の定員。まつり当日を合わせて5回実施。</p>	
<p>【城山文化センター児童館】 ①多世代交流「折り紙の日」 ②読み聞かせ ③向陽台のアート上映&クイズ ④バレーボール体験 ⑤バレーボール大会 ⑥和太鼓演奏と体験会 ⑦消しゴムはんこでくみボタンづくり ⑧消しゴムはんこ体験 ⑨駄菓子屋さんの日 ⑩城児ファームの日 ⑪和太鼓城児太鼓Iプラザ太鼓祭り出演 ⑫和太鼓城児いなぎ手づくり市民祭出演 ⑬和太鼓城児城山文化センターまつりにて和太鼓鼓遊とコラボ ⑭山カフェ(中高生) ※今後ゆうしの里山カフェにネーミング変更予定 ⑮じどうかんフェスティバル</p>	<p>①いなぎFFネットワーク協力多折り紙を通して、世代交流。 ②ルーヴルリアン協力生演奏と絵本の読み聞かせ。 ③向陽台のアートを伝える会協力上映&クイズ 知ってるかなアート展 ④ポピンズによる体験会 ⑤ポピンズ審判中高生対象大会 ⑥和太鼓和による演奏と体験会 ⑦トコトンぼんによる未就学児親子事業 ⑧トコトンぼんによる消しゴムハンコづくり各小学生の部 中学生の部で実施 ⑨城児応援団(元児童館職員)による駄菓子屋さん ⑩地域の畑ボランティア協力のもと実施(内多摩市民1名) ⑪共同推進課の事業 ⑫向陽台で実施の手づくり市民祭に出演 ⑬児童館コーナーエンディングに引き続きうさぎさん公園にてコラボ演奏 ⑭いなぎFFネットワーク・本郷児童館と共催 ⑮本郷児童館と共催事業</p>	<p>①乳幼児から高齢者の幅広い交流になっている。 ②手づくり絵本と音楽で年齢関係なく楽しめていた。 ③身近な公園など出てきて新たな発見もあり大人も盛り上がっていた。事業の後も、児童館の廊下にアート写真を掲示するなどしてつながりを持っている。 ④初めての児童も丁寧な指導でバレーに親しんでもらえた。 ⑤中高生当選意見でバレーボール大会を実施。地域の良いつながりとなった。 ⑥Iの町市民祭100人太鼓の紹介もかねて体験を行った。行政民間隔たりなく協力し合えるとよい。 ⑦好きな消しゴムハンコを選んでくみボタンづくり。試し押しをポンポン楽しむ姿が見られた。 ⑧実際に消しゴムハンコを作る体験細かな作業に苦戦しながらも一生懸命取り組んでいた。 ⑨小銭を握って駄菓子屋さん目当てに来る児童もいる。地域のボランティアさんとの話も弾みます。 ⑩地域で子育て顔見知りの関係になれている。 ⑪Iプラザでの大きなステージにて演奏出来た事が良い経験となり、出演保護者や職員、関係機関との助け合いの協力がとても良い関係だった。 ⑫和太鼓「鼓遊」、その他地域の関係機関との繋がりで出演することが出来た。たくさんの人に見てもらえて喜んでいました。出演の児童も他の関係者と積極的に交流していました。 ⑬Iプラザ本番にて交流があった和太鼓「鼓遊」とのコラボで文化センターまつりを盛り上げられた。 ⑭生地からビザづくり。3機関の交流と参加児童との交流が出来た。 ⑮児童館の発表の機会と普段の児童館を知り味わうフェスティバル</p>

図書館課	* 各種イベント関連展示の実施	* 市が主催するイベントや各種行政機関の事業に関連した資料等の展示を行っている。 《全館で実施》 * 平和に関する資料展示 (7/22～8/31実施、市民協働課主催「平和の川柳コンクール」に併せて実施) * 防災週間に関する資料展示 (8/26～9/30実施) * 男女平等推進フォーラム関連資料展示 (11/12～12/1実施、主管:市民協働課) * 障害者スポーツ特集～デフリンピック競技大会によせて (11/5～11/30実施、主管:スポーツ推進課、障害福祉課)	* 期間中各館でテーマに沿った展示を行い、市内どこでも関連する情報に触れることのできる体制を整えることができた。
稲城市少年消防クラブ	* 稲城市防災訓練	* 消火器の使用方法について参加者に指導する。また、119番通報訓練、煙体験訓練等の各種の訓練に参加し、防火・防災について学ぶ。	* 消防署、消防団をはじめ、防災関係団体と連携して訓練指導したことにより、地域防災力につながった。
指導課	* 学校支援コンシェルジュの配置	* 中学校ブロックごとに、学校支援コンシェルジュを配置し、地域等による授業や行事等の学校支援を充実し、地域とともにある学校づくりを推進する。	* 学校と地域の団体、地域住民等のボランティアとの連絡、調整が行われ、地域と連携した教育活動の充実が図られた。 * 令和7年度は、地域教育懇談会との合同連絡会を開催し、コンシェルジュ同士の連携や各中学校ブロックの情報共有、意見交換を図った。 * 統括学校支援コンシェルジュを任命し、コンシェルジュ同士のつながりの強化を図った。
スポーツ推進課	* 第34回稲城市小中学生マラソン大会	* 市内在住・在学の小中学生を対象としたマラソン大会を実施 【期日】令和7年12月7日(日) 【会場】総合グラウンド及び周辺 【対象】稲城市内在住・在学の小中学生(親子の部は小学1・2年生及びその保護者) 【参加者】847人(親子の部の親を含む)	* 引き続き安全面対策などの運営方法の改善や、大会運営ボランティアスタッフを確保していくことが今後の課題である。
地区体育振興会	* 各地区体育振興会合同事業(令和7年度稲城市ポッチャ大会)	* 子どもたちだけでなく、世代を超えた交流の輪を広げるため、各地区体育振興会が合同で、ポッチャ大会を実施した。 【期日】令和7年12月14日(日) 【会場】総合体育館 【対象】市内在住・在学・在勤の方	* 令和7年度は24チームが参加した。親子や友達同士での参加等、小中学生がプレーする姿も見受けられた。 * 今年度の大会では、中学生のチームが準優勝し、上位大会(東京都市町村ポッチャ大会)に進出するなど青少年の育成に貢献している。 * 課題としては、以前実施していたドッジボールと比較し、競技の知名度が低いことや、地区ごとに参加者数の偏りが生じてしまっていることがあるが、各地区体育振興会による各地区自治会等への周知や小中学校への大会チラシ配布により参加者増を目指している。

P T A 連 合 会 市立 学 校	* 市内一斉パトロールへの参加促進 (全校すべて) * 地域祭りへのボランティア参加促進(三中)	* 祭りボランティア -生徒内有志 * 地域パトロール(二小) -青少育と合同 * ボランティア部(五中) -手作り市民祭り	* 横の(定期的な)つながり
青 少 年 育 成 矢 野 口 地 区 委 員 会	* 賽の神事業	* 第七小学校で賽の神を実施。 第七小学校・自治会・睦会・各ブロック・近隣住民と各地域団体にご協力を頂きながら事業を進めることができた。	* 前日の櫓造り含めて、各団体の協力がなくては実施できないイベント。また竹や藁などの具材についても地元の皆様のご協力により立派な櫓を造ることができ大変感謝しております。
青 少 年 育 成 東 長 沼 地 区 委 員 会	* 稲城ふれあいの森テント設営作業(5月25日) * あいさつ運動 * 稲城ふれあいの森閉村作業(11月30日)	* テント設営。 * 校内前(三小)、交差点などで、登校児童へあいさつ。 * テント片付け、落ち葉ひろい等。	* 一つの場所に集まり、各種団体の方々と作業できた。 * 安全対策でもあるし、朝から「あいさつする」そのコミュニティが気持ち良かった。 * お世話になった会場を皆でしっかり片付けできた。
青 少 年 育 成 坂 浜 地 区 委 員 会	* 塞の神(1月11日～1月12日) * お楽しみ会(8月24日)	* 坂浜地区委員会、坂浜体育振興会、長峰地区委員会、若葉台地区委員会が主催となり、駐在や地域消防団他、多くの団体や、坂浜、長峰、若葉台の学校関係他の方々と共に塞の神の作成(1月11日)、お焚き上げ(1月12日)を実施した。 * 二小の先生方・地域の方・保護者など協力いただき水風船遊びを実施した。	* 三地区の各種団体など、多くの方々と連携により実行できた。 * 学校・家庭・地域の連携により開催できた。
青 少 年 育 成 向 陽 台 地 区 委 員 会	①月例定例会(毎月第二土曜日) ②いなぎ手づくり市民まつり(5月) ③向陽台サマーフェスタ(7月) ④向陽台夏祭り(8月) ⑤城山文化センターまつり(11月) ⑥向陽台イルミネーション点灯式(11月) ⑦向陽台連合会定例会(毎月) ⑧百村地区塞の神(1月) ⑨大丸地区塞の神(1月)	①毎月第二土曜日に協力団体をお招きして定例会を開催し各団体の近況を共有して地域連携を深めます。 ②③④⑤⑥地域の「まつり」イベントに積極的に参加することで地域連携の強化を深めます。 ⑦毎月開催される地域の連合会に出席することで相互協力を深めます。 ⑧⑨他地区の活動に参加することで地域間の連携強化を図ります。	* 地域の他団体との連携を強化することで地域の一員として地域貢献に一役買うことができたと思っております。向陽台という町をみんなで盛り立てていきたいと思っております。 また向陽台地区だけに留まらず他の地区委員会と連携することで他地区の良い面だけでなく地域が抱える問題についても一緒に考えていく礎になれば、と思っております。

<p style="text-align: center;">青少年育成 長峰地区 委員会</p>	<p>* 塞の神</p> <p>* 夜間パトロール</p>	<p>* 地域の他団体との協業による、地域の伝統行事。</p> <p>* 地域団体との合同パトロール</p>	<p>* 事前協議やまゆ玉用篠竹の切り出し、前日の檣建て、当日のお焚き上げと、他地区、他団体と協業で行い、地区・団体の枠を超えた地域間連携を強化することができた。</p> <p>* 長峰小学校PTA、民生児童委員など他の地域団体に参加いただき、地区内の夜間パトロールを実施した。</p>
<p style="text-align: center;">青少年育成 若葉台地区 委員会</p>	<p>* 塞の神 (1月11日～1月12日)</p>	<p>* 坂浜体育振興会及び青少年育成地区委員会(坂浜地区、長峰地区及び若葉台地区)が主体となり、地域活動団体、学校関係団体などと協力し、警察署(駐在)、消防団の見守りを受け、塞の神の築造(1月11日)、お焚き上げ(1月12日)を行った。</p>	<p>* 主催団体、地域活動団体等が無病息災を願う伝統行事である「塞の神」を通じて、コミュニケーションを育むことができた。</p>

令和7年度青少年健全育成アクションテーマ取組報告書

【全体テーマ】青少年の生きぬく力を育てよう

【アクションテーマ】1.笑顔であいさつをしよう

事業の取り組みの概要及び成果や課題

稲城市民生児童委員協議会(生活福祉課)

* 小・中学校の校門、通学路に民生・児童委員が立ち、登校する児童・生徒に朝のあいさつ運動を行うことで、児童・生徒の安全を見守っている。

児童館

【本郷児童館】

- * 「こんにちは」「さよなら」と顔を見て挨拶をするように声を掛けた。
- * 児童館来館時、帰宅時に職員が積極的に児童に挨拶するよう心がけ実施した結果、来館児童自らも元気に挨拶をする子が増えた。来館時に何気ない会話をするこどもやこどもの遊びに参加することで信頼関係や自然と笑顔で挨拶を交わらせるような雰囲気作りを大切にしている。
- * 子ども達だけでなく、保護者、地域の方、学校関係者の方へも、率先して明るく挨拶を交わしている。

【第二文化センター児童館】

* 職員が日々、来館する利用者さんに積極的に笑顔で挨拶をするように心がけており、多くの利用者さんから挨拶をしてもらえるようになった。

【第三文化センター児童館】

* 職員からこどもたちに「こんにちは」「さようなら」を笑顔であいさつをした。こどもたちの方から先に大きな声で元気にあいさつをしてくれることも多くなった。

【第四文化センター児童館】

* 遊びに来た時、帰る時には必ず、挨拶をする。できない子、しない子にはくり返し声をかける。挨拶をしない子は少ない。

【城山文化センター児童館】

- * 児童館入口にて受付と職員を配置し、入館時に交流できるようにした。
- * 来館者と職員と交流が持てるような環境づくりを職員間で心掛けた。
- * 児童館外であった時も笑顔で挨拶できる関係になっている。
- * 向陽台、長峰地区関係機関にて子育て支援会議を機に顔が見える関係となり子育て支援の協力をし合っている利用児童たちの繋がりが利用者職員共に挨拶のできる関係になっている。

図書館課

* 市内の中学生の職場体験学習において、接客を体験していただく中で、挨拶を含めた社会の一員としてのマナーの習得・実践の場を提供した。

稲城市少年消防クラブ

【体験学習】

- * 施設見学や体験学習等の始めと終わりには必ず指導者に対しあいさつをするよう指導している。
- * 関係者に対しても笑顔であいさつができるようになっている。

指導課

【各校におけるあいさつ運動の実施】

* 各校にてあいさつ運動に取り組むとともに、中学校ブロックごとの地域教育懇談会等と連携して、挨拶の励行等の取り組みを行った。

市立学校PTA連合会

- * 稲城市立第三中学校挨拶ボランティア
毎月月曜日(祝日)の保護者有志で学校近辺で立って、挨拶運動をしている。
- * 稲城市立長峰小学校
「あいさつ係」(PTA会員)

青少年育成矢野口地区委員会

- * 榎戸ブロックで道あそびを実施
- * 子供たちが外で遊ぶ「場」がなくなっていることに課題を感じ、自治会の広場・道路を解放し、子供たちが自由に遊ぶ「場」を提供。
- ※5月・11月に実施
- * 事前にお声掛けした老人施設の皆様から、通りかかった地元の未就学児・ご家族まで幅広い年代の方々が一緒に遊ぶことができ、地域での交流のきっかけとなった。

青少年育成東長沼地区委員会

- * 各種行事での子どもたちへの積極的な声かけ(あいさつ等)。

青少年育成大丸地区委員会

- * 地域の神社(津島神社・大麻止乃豆乃天神社)のまつりの巡行付添、盆踊り(大丸自治会主催)に出店などで協力し、集まった子どもたちへ挨拶や声掛け等、コミュニケーションをとった。

青少年育成坂浜地区委員会

- * 元氣よく挨拶をかわし顔を覚えるところからはじめ、子ども達と地域の人たちとの交流機会が増えた。

青少年育成向陽台地区委員会

- * 各回のイベントでは参加してくれた子供たちに必ず最初に挨拶を交わしてお名前を覚えてもらいます。その1対1のコミュニケーションがまず第一だと思っています。イベント終了後にはそれぞれの子供たちにイベントの感想や見つけたこと、気が付いたことなど何でも構わないので話してもらっています。一人の子の気づきが言葉にすることでみんなの気づきになります。我々も驚かされるような気づきもあつたりします。

青少年育成若葉台地区委員会

- * 屋外親子映画会&大スイカ割り、地区キャンプ、こども神輿、六中ふれあいの日、塞の神、地域運動会、地域スキーツアー等のイベントや通年で実施している放課後の居場所づくり「つながりーヨ」において、コミュニケーションの第一歩として、積極的な互いの笑顔の挨拶を促している。

令和7年度青少年健全育成アクションテーマ取組報告書

【全体テーマ】青少年の生きぬく力を育てよう

【アクションテーマ】2. ボランティア活動をしよう

事業の取り組みの概要及び成果や課題

児童館

【本郷児童館】

- * 亀山下公園の花壇ボランティアに参加。
- 地域の方々と一緒に会話をしながら活動することでいつも誰かが公園をきれいにしてくれていることに気が付くことができた。
- * こどもスタッフ
- 子どもの意欲的な活動の推進となり、もりもりファームのお手伝いや児童館まつりのお店の企画から運営までを行った。自ら企画・実施することが児童の主体性の発揮や意欲、自信につながった。

【第二文化センター児童館】

- * 高校生のボランティアの受け入れを行った。子どもとの距離が近く大人の視点も持っている高校生ボランティアの存在は、子ども達のロールモデルとなり、児童館の活性化にもつながった。
- * 読み聞かせボランティア「お話しレストラン」に依頼し『夏のこわいおはなし会』を実施。事業も盛り上がったが、身近なボランティアのかたと接し、地域で育っていることを実感できる場となった。

【第三文化センター児童館】

- * 「おおそうじの日」を年末に実施。みんなで協力して児童館の窓ふきや棚、遊具などの拭き掃除をした。いつも遊んでいる児童館がよりきれいになったことで気持ちが温かくなり、達成感を得ることができた。

【第四文化センター児童館】

- * あらためてのボランティア活動はないが、異年齢同士の関わりが多いので、自然と下の学年の子に対して、「教えてあげる」という姿が多く見られる。また、毎月のイベントのポスター作成に、積極的に協力してくれている。児童館まつりでの実行委員会活動。

【城山文化センター児童館】

- * 城児応援団（駄菓子屋さん）
- * いなぎFFネットワーク（FFの日・多世代交流季節の折り紙と工作）
- * いなぎグリーンプロジェクト（自然エネルギーのお話と、風力発電風車づくり）
- * リーヴルリアン（生演奏の絵本の読み聞かせ）
- * 向陽台のアートを守り伝える会
（上映&クイズ 向陽台のアート写真掲示:見た事ある参加型認知度チェック）
- * ささえあいネットワーク向陽台（情報の共有と案内）
- * 城児ファームボランティア（地域の畑に詳しい協力者）
- * 和太鼓「和」（和太鼓体験と演奏）
- * 和太鼓「鼓遊」（お祭りのお誘い 児童館の和太鼓チームとコラボ演奏）
- * 利用者保護者（綿あめ屋さん）
- * プラザ本番、手づくり市民祭での保護者、職員ボランティアの協力
- * 和太鼓城児 和太鼓補助ボランティア
- * とことんぼん（消しゴムハンコくるみボタンづくり 消しゴムはんこ体験）
- * バレーボールチームメリーポピンズ（中高生バレーボール大会の審判・小学生のバレーボール体験）
- * 城山文化センター公民館職員勤務外ボランティア（黒板アートの日）

図書館課

- * 中高生ボランティアが、中高生年向け機関紙「ポルターダ」編集スタッフとして機関紙の編集に取り組んだ。

稲城市少年消防クラブ

【火災予防広報活動・多摩川清掃への参加】

- * 火災予防広報活動や多摩川清掃を実施することにより、社会的道徳性と社会奉仕の精神を養うことができた。

指導課

【地域におけるボランティア活動の実施】

- * 中学生による夏休み期間のボランティア参加、小中学生による地域美化活動への参加など、自分たちが住む街や地域の人々の役に立つ体験を行った。

市立学校PTA連合会

- * 地域祭りへのボランティア参加促進（三中）。祭りボランティア-生徒内有志。ボランティア部（五中）-手作り市民祭り。

青少年育成矢野口地区委員会

- * 各ブロックのイベントを通じて、中学生や高校生など地元の地域のイベントスタッフとして参加して頂いた。

青少年育成大丸地区委員会

- * 川崎街道や公園等、日常的に使用されている場所・道路の清掃を、委員の子どもたちと共に行った。街の環境美化や、地域のゴミへの関心向上、ポイ捨ての抑止になった。

青少年育成百村地区委員会

- * 小中学生の地域活動参加声掛け。盆踊り大会出店ボランティア、堅神社例大祭 出店ボランティア、子ども神輿サポート。
- * 成果:ボランティア活動を楽しみながら行事を知る小中学生が増えた。
- * 課題:地域社会のイベントや活動をコロナ禍のために知らなかった子たちも多いと思われることからより広く告知発信をしていきたい。

青少年育成坂浜地区委員会

- * 塞の神の建てにて、二小長峰小児童、二中六中生徒の多くの方に参加いただいた。地域活動を通して世代を超えた方との協力・交流により、地域とのつながりを感じてもらえるように参加いただいた。

青少年育成向陽台地区委員会

- * ジュニア環境パトロールという名の地域ゴミ拾いイベントは子供たちにも人気のイベントです。自分たちが楽しくゴミ拾いをしていくことがボランティア活動に繋がっていることを自覚していなくてもそういった活動に参加して周りからも誉められることで自然と自己肯定感が高められて、きっとこの子たちは大人になってもポイ捨てなどしない大人になっていくでしょう。

青少年育成若葉台地区委員会

* 青少年育成地区委員会の役員、地区委員等がボランティアとして、様々なイベントを実施するとともに、イベントの参加者と共に道路、公園等の緑化事業の企画・実施等を積極的に行っている。

社会福祉協議会

* 夏！体験ボランティア

小学生から社会人まで幅広い世代を対象に夏休み期間に市内高齢者施設、障害者施設、保育園、ボランティアグループ、NPO法人などでのボランティア体験のキャンペーンを実施、延べ209142人の参加があった。

* 歳末たすけあい運動街頭募金活動

地域福祉活動への関心を高める機会として、共同募金の一環である歳末たすけあい運動の募金活動に31人の市内中学生の参加があった。

令和7年度青少年健全育成アクションテーマ取組報告書

【全体テーマ】青少年の生きぬく力を育てよう

【アクションテーマ】3.「生活体験・自然体験・読書」をしよう

事業の取り組みの概要及び成果や課題

児童館

【本郷児童館】

* 畑 児童館近くのもりもりファームで実施。じゃがいも・さつまいもの苗植えや収穫、不定期で大根の収穫体験を実施。

* 里山あそび ゆうしの里山で親子イベントを実施。焼き芋・ピザ・里山汁を食べたり里山遊びを行ったりした。

* 山カフェ 子どものみを対象とした里山活動。山でしかできない焚火を使ったご飯づくりや山遊びを楽しむ。

* 季節行事 七夕、水遊び、お正月遊びなど、日本の文化や伝統に関心をもてるような伝統的行事を行った。

【第二文化センター児童館】

* 小学生以上の親子向け事業「クワガタムシの飼い方を親子で学ぼう！」を実施。講師を招いてクワガタムシの産卵～成虫にさせる方法を学び、生態や飼い方、生き物を育てることの大切さを学んだ。

【第三文化センター児童館】

* 小学生以上の親子向け事業「クワガタムシの飼い方を親子で学ぼう！」を実施。講師を招いて、クワガタムシの産卵～成虫にさせる方法を学び、生態や飼い方、生き物を育てる事大切さを学んだ。

* 季節行事 七夕、お正月遊び、節分など日本の文化や伝統に関心をもてるような伝統的な行事を取り入れた工作などを行った。また木やどんぐりなど自然の材料を使った工作を行った。

【第四文化センター児童館】

* 七夕、ハロウィン、クリスマス、大そうじ等、季節を感じられる事業を行っている。

* 夏休みには、講師を招き、「クワガタムシの飼い方を学ぼう！」を実施。指導を受けて、実際に1ペアのクワガタムシを自宅に持ち帰り、親子で飼育の機会を得た。

【城山文化センター児童館】

* 毎月職員の紹介本を購入し、おすすめ本POPを作っている。

* 置いてほしい本のご意見箱を置き反映している。

* 城児ファームをボランティアさんと共に作業している

堆肥づくり、キノコの栽培、米作り、各野菜作り、台所から(生ごみ)出た種や苗の栽培、ご家庭で面倒が見られなくなった植物の受け取り、球根を増やす、畑で採れた野菜から苗を作り、等行いなるべく購入などせず児童館で循環が出来るシステムを心掛けている。畑の整備→育てる→収穫する→食べる体験。

* アトリエの素材に文化センター敷地やゆうしの里山で選定した木などの素材を取り入れている。

* 朝カフェでBOOKサロンお絵本に親しんでいる。

* 山カフェ ゆうしの里山にて、未就学・小学生・中高生対象の事業。

城山体験学習館

* 小中学校の夏季・冬季休暇の時期に合わせて、市民による子ども向け自主講座の開催場所を提供した。

図書館

* 銀行預金通帳を模した帳簿に貸出履歴を印刷し、読書意欲の向上を図る「読書通帳」を平成28年度から市内の中学生以下の児童・生徒に無料発行している。令和7年度は、12月末までに681冊を発行しており、累計発行部数は14,243冊となった。

指導課

【宿泊体験学習の実施】

- * 小学校5年生による稲城ふれあいの森においては、自然体験活動を行った。
- * 小学校6年生における野沢宿泊体験学習においては、長野県下高井郡野沢温泉村における宿泊体験学習を行い、雄大な自然や人との触れ合いを通じて、普段ではできない体験を数多くすることにより、経験の幅を広げるとともにふるさとである稲城に対する愛着を深めることができた。
- * 中学校1年生における野沢宿泊体験学習は、1月中旬から下旬に実施予定。

稲城市少年消防クラブ

【体験学習】

* 消防署において、初期消火訓練、応急訓練、結索訓練、礼式訓練等を行い、防火・防災に関する知識、技術の習得を図った。

【施設見学】

* 本所防災館で防災体験学習を行い、首都直下地震に関する知識・技術を学んだ。

青少年育成矢野口地区委員会

* キャンプ、道あそび

キャンプファイヤーや竹細工、焼きいもなど日常ではできない火を扱うことや自然とふれあうことができた。

青少年育成東長沼地区委員会

* デイキャンプ

デイキャンプにおける日常生活との違い、自然とのふれあい。

青少年育成大丸地区委員会

* ふれあいの森で焼きいも作りをすることで、火の熱さを直接感じられた。短いルートの散策だったが、稲城の自然を体験できた。

青少年育成百村地区委員会

* しめ縄飾り作り教室。お金を出して購入するしめ縄飾りではなく、お米の藁を束ねて編むところから、しめ縄飾り作りを体験。

成果: コメの藁を触る体験や日本の伝統的な文化について考えるきっかけとなった。

青少年育成坂浜地区委員会

* ふれあいの森でのキャンプにて、火起こしや昼・夕食調理での生活体験、自然の中でのゲームを実施し、普段と違う体験を提供した。

青少年育成向陽台地区委員会

* 里山ハイキング、ナイトハイク、ナイトアドベンチャー、ふれあいの森デイキャンプなど稲城市の恵まれた自然環境に触れる活動をここをメインとして年間通して行っています。四季を通して触れることができる草花や虫たち、そして野鳥や動物たちと共生していることを感じてもらえたらと願っています。大人になって環境が変わってもこの稲城で育ったことを思い出して誇りに思ってもらえたら最高です。

青少年育成長峰地区委員会

「長峰地区キャンプ」において、3年生以上は親元を離れて児童だけで、1・2年生も親ではない保護者と1泊2日の縦割り班野外共同生活をふれあいの森で行い、火おこしや調理体験、ふれあいの森全体を使ったフィールドゲームにより、生活体験および自然体験をすることができた。

青少年育成若葉台地区委員会

* 稲城第六中学校1年生と自治会等の地域の方々がボランティア、創作、自然体験、昼食づくり等をして一日を一緒に過ごす「六中ふれあいの日」を実施している。企画、とりまとめ等を若葉台地区委員会が行っている。

- ① ふれあいの森で、地域の竹を利用した、かぐや姫炊飯と竹あかり作り
- ② ドラム缶ピザ焼き & ペットボトルロケット作り
- ③ フラワーロードでチューリップいっぱい活動(緑化事業)
- ④ 稲城の農家で地産地消体験 & フラ細工作り
- ⑤ お祭り模擬店の企画、実施(イベント開催のノウハウを学ぶ)

※「六中ふれあいの日」は学校授業のカリキュラムとして位置づけている。